めぐみの森だより　2025 年　5月号

社会福祉法人　雲柱社　めぐみの森保育園　　☎　03-3480-4448

“小さいころは　神さまがいて　ふしぎに夢を叶えてくれた♪”

5 月に入り、新入園児の子どもたちの不安な表情が少しずつ笑顔にかわっていき、在園児の子どもたちは新しく出会った先生たちに対して緊張している姿から甘えている姿にかわってきています。

冒頭の文章はある歌詞の一節です。2 年前の卒園文集にも書かせていただいたのですが、この歌詞にある“神さま”とは誰の事だと思いますか？

私的な考えなのですが、ここに出てくる“神さま”はお父さんやお母さんなのだと思っています。子どもたちが歩き始めた時に怪我をせずに歩けていたり、話し始めた時にいきなりおしゃべりができていたり、はたまた字を書き始めた時に全ての字が書けるようになっていたり…それは全てお父さん、お母さんの存在があって、子どもたちの夢は叶っているのだと思います。

ある日 5 歳児クラスでふくしえほん（＊注1）に取り組んでいました。今年初めて行う“ふくしえほん”の時間だったこともあり、どの子も A4サイズのファィルをもらうと目をキラキラさせていました。担任の話もよく聞いている様子で先生の質問に対して、たくさんの反応がありました。そんな中、K さんが先生の話に集中して聞いていると、ヒラヒラ～っとファィルに入っていた紙が床に落ちてしまいました。K さんはその紙を拾い上げ（拾い上げながらも耳は先生の話を聞いている様子）、入っていたファィルの中に戻そうとしていました。しかしながらそのファィルがペラペラとした素材のため、子ども一人で戻すことは至難の業。それでも K さんは真剣なまなざしで元に戻そうとしていました。30 秒…1分…　さすがに「手伝おうか？」と声を掛けようかと思った瞬間、スーッと紙がファイルの中に入っていきました。

これまでなら、「せーんせい！かみいれて！」「あ”！もういやだ！」なんて言っていたかもしれません。成長をしていく中で手先も器用になり、そして何よりもこれまで K さんにとっての“神さま”からたくさんの愛を受け、多くの夢をかなえてもらってきたから、今回諦めずに紙をファイルに入れられたのかもしれません。

「先生！ちょっと大袈裟じゃないですか？」なんて言われるかもしれませんが（笑）・・・そんな愛の積み重ねが子どもたちの諦めない気持ち、優しい心、慈しみの想いになっていくのだと私は思います。

今年度も私たち職員は子どもたちにとっての保護者のような存在にはなれないかもしれませんが、たくさんの愛を子どもたちに注いでいければと思っています。

注1：「ふくしえほん」とは・・・「ふくしえほん」は、車いすに乗ったゆうくんと仲良しのあいちゃんが主人公のえほんです。内容は、バリアフリーや手話・点字、リサイクル、いのちの大切さなどを子どもたちに伝えるため、4月から3月まで毎月様々なテーマのシートを1枚ずつ配布し、一年間かけて完成する仕組みになっています。

主任：湯澤

☆今月のお気に入り☆

『木梨サイクル』

小田急線の祖師ヶ谷大蔵にある木梨憲武さんのお父さんがされている自転車屋さんなのですが、その 2 階にのりさんがプロデュースしている T シャツや小物を売っているお店があます。自分は店舗で買うことはなく、専ら“ポチッ”とネットで買っています！ちょっと面白く、ちょっとカッコいいものが多いです。